

各施策に向き合った予算執行を確認

一般会計

質疑

歳入全般

- ①公共施設費の一般寄付金の基準、件数、目的について問う。
- ②個人市民税・法人市民税の実態について問う。また、市民生活への影響をどのように捉えているのか？
- ③雑入の収入未済額について問う。
- ④ホームページのバナー広告に対する取り組みについて問う。

質疑

衛生費・労働費

- ①北川原公園測量・実施設計業務委託の契約について問う。
- ②新生児訪問事業について詳細を問う。
- ③勤労・青年会館の修繕内容について問う。
- ④健康サポートルームの平成27年度の実績を問う。

質疑

教育費・公債費・諸支出金・予備費

- ①土曜日の教育支援体制等構築事業の詳細を問う。
- ②学童クラブ入所基準の改正により影響を受けた児童数を問う。
- ③防犯カメラの設置場所について、どのような検討をしているのか？
- ④学校給食民間委託の余剰財源を何に充てたか？
- ⑤1校に1人、スクールソーシャルワーカーが必要と考えるが市の見解を問う。
- ⑥部活動活性化補助金の目的は何か？

質疑

議会費・総務費

- ①コンビニ証明書交付サービスの利用状況を問う。
- ②期日前投票所の増設について、検討は行ったか？
- ③市職員の新しい人事評価制度について問う。
- ④公契約条例についての市の見解を問う。
- ⑤生活保護事務の適正化に関する第三者検討委員会での議論内容・報告内容は、市にどのように浸透しているのか？
- ⑥第5次基本構想・基本計画市民意識調査について、市の見解を問う。
- ⑦ホームページの充実について、具体的な状況を問う。
- ⑧滞納処分の執行停止と不納欠損の理由について問う。

質疑

農業費・商工費・土木費・消防費

- ①道路舗装、補修計画の実施について市の見解を問う。
- ②ミニバス、ワゴンタクシーの利用実績について問う。
- ③花のまちづくり事業の位置付けについて問う。
- ④市民農園の使用料引き上げによる利用者の声は、どのようなものがあったか？
- ⑤街路灯費の不用額について問う。
- ⑥橋梁長寿命化計画の概略について問う。
- ⑦遊具修繕計画について問う。
- ⑧公園遊具の平成27年度の修繕・新設・撤去数について問う。

質疑

民生費

- ①避難行動要支援者対策事業の具体的な内容を問う。
- ②高齢者民間住宅家賃助成の現状について問う。
- ③貧困対策上の学習支援について、情報発信の仕方や職員の配置について問う。
- ④子ども家庭在宅サービスの一時保育事業について、どのような進め方をして、どのような利用者数になっているのか問う。
- ⑤障害者福祉サービスの充足率について、当初計画と後期計画の数字が異なっているが、その理由は？
- ⑥子どもの貧困対策も踏まえた、保育料の自己負担の支援策について問う。
- ⑦「さらに響け！ヒノソング」のCD売り上げ実績について問う。

質疑

総括質疑

- ①法令順守も含めた、今後の自治体運営の決意を問う。
- ②子どもに関する施策全般について、国からの委託事業を問う。
- ③施設予約システムは、全ての施設で統一した対応が必要と考えるが、是正すべき点はなかったのか？
- ④橋梁長寿命化事業の対策により、耐震化でどのくらいの地震に耐えられることが出来るのか？
- ⑤平和事業基金と、新選組関連資料収集基金の成り立ちと現状について問う。
- ⑥市民農園の利用料アップに伴う利用者数を問う。
- ⑦東京オリンピック・パラリンピックに向けた、平成27年度の各部署での取り組みを問う。

平成27年度 決算特別委員会の審査概要を紹介

決算を徹底チェック

？ 決算の認定とは 予算が収入と支出の見積もりであるのに対し、決算は収入・支出の結果です。決算の認定とは、予算がどのように使われ、いかに成果を上げたのかを議会が市民の立場に立って審査・判定し、適正であると認めることです。

国民健康保険特別会計

質疑

- ①データヘルス事業の協会健保との協定について、その後の進捗状況を問う。
- ②一般会計繰入金保険基金安定繰入金について、どのように使われたのか問う。
- ③徴収率について、相談件数の前年度との比較について問う。
- ④加入者数の増減に伴う影響や、決算状況が今後どのように影響していくのか問う。
- ⑤健康増進事業について問う。
- ⑥所得不明で未申告の方に関して、世帯構成・世代構成を把握しているのか？

意見

- ①保険税負担の軽減こそ行うべき(反対)。
- ②40歳代・50歳代の引きこもりに対して、将来への投資という観点で、アウトリーチ型の保護に取り組んでもらいたい(賛成)。
- ③一般会計の繰入金の削減に向けた、さらなる取り組みをしてもらいたい(賛成)。

下水道事業特別会計

質疑

- ①流域下水道建設事業経費に関して、南多摩処理区・浅川処理区・秋川処理区の負担金について問う。

意見

- ①介護保険事業者情報提供業務委託料の削減について、市の見解を問う。
- ②介護保険サービス利用者の中で、認知症の方の人数を問う。
- ③生活支援総合事業の登録事業者数について問う。

区画整理事業特別会計

質疑

- ①豊田南土地区画整理審議員の逝去による選挙について問う。
- ②保留地の処分の仕方と見直しについて問う。

意見

- ①区画整理事業の透明性・公平性を守りながら進めて欲しい(反対)。
- ②市民合意をしっかりと取り付けてから、事業を進めるべき(反対)。

後期高齢者医療特別会計

質疑

- ①データヘルス事業の協会健保との協定について、その後の進捗状況を問う。
- ②一般会計繰入金保険基金安定繰入金について、どのように使われたのか問う。
- ③徴収率について、相談件数の前年度との比較について問う。
- ④加入者数の増減に伴う影響や、決算状況が今後どのように影響していくのか問う。
- ⑤健康増進事業について問う。
- ⑥所得不明で未申告の方に関して、世帯構成・世代構成を把握しているのか？

意見

- ①介護保険事業者情報提供業務委託料の削減について、市の見解を問う。
- ②介護保険サービス利用者の中で、認知症の方の人数を問う。
- ③生活支援総合事業の登録事業者数について問う。

質疑・意見は、ありませんでした。

一般会計決算の認定に賛成か、反対か ~各会派の総括意見(要旨)

平成27年度 歳入 1,188億2,809万円 (前年度比 7.7%増)
 歳出 1,161億5,071万円 (前年度比 6.7%増)

会計別	歳入	歳出	前年度比
一般会計	641億2,265万円	612億2,927万円	6.2%増
特別会計	547億 544万円	549億2,144万円	9.5%増
国民健康保険	202億2,272万円	200億5,822万円	13.8%増
土地区画整理事業	49億2,654万円	46億8,431万円	22.8%増
下水道事業	51億8,972万円	50億8,802万円	5.9%増
介護保険	117億8,309万円	117億7,742万円	6.0%増
後期高齢者医療	37億7,890万円	37億6,382万円	2.8%増
市立病院事業	88億 446万円	95億4,965万円	6.2%増

賛成

「2020プラン」や各種計画との関係性/PDCAを意識した事業執行になっているか/少ない経費で最大の効果が上がるよう工夫されているか。当会派はこの着眼点から審査に臨み、そして決算を認定すべきとの結論に至りました。市長は政策実施の基本に「諸方融合」を掲げていますが、それは共通の目標を掲げている理由はここにあるのです。決算の審査は、審査内容を次の予算編成に役立てる大きな意義があります。

「PDCA」にもう一つのP(ポリシー)を市民クラブ

国際貢献・平和と生かす③社会全体の損失につながる子どもへの貧困に対する施策推進④100人規模の待機児童対策を高く評価

賛成

財政の健全化には、単年度の収支均衡にとどまらず、将来の財政需要に備えた弾力性が求められます。平成27年度から28年度に繰り越す事業の財源を差し引いた実質収支では、27・7億円の黒字ですが、26年度からの繰越金や基金の取り崩し額を差し引くと、実質単年度収支では、1・7億円の黒字に過ぎません。また、市債

を解りやすい形で共有する必要があります。①歳入増に向けて「PDCA」の前にもう一つのP(ポリシー)が必要であると、当会派が訴えています。これを念頭に、先送り出来ない事業・施策について意見を述べます。①街路防犯カメラ設置推進を評価。②を拡充し、検診や運動の参加者を増やす工夫を⑤商店街活性化に向けて商工会など連携を⑥空き家対策条例化の取り組みを評価⑦子どもの育成事業「スーパードット」を実施を評価⑧空室対策⑨1件の事例推進⑩市民の命・財産と水の郷を守る災害対策⑪スーパードットの充実⑫南平体育館などスポーツに関する環境整備を。

賛成

人口減少と地域経済の縮小は大きな課題です。未来を考えた可能性と希望に満ちた日野市を子どもたちに継承していくために、今何をすべきか。平成27年度は、このテーマに向き合い、持続できる社会構築に尽力した年であったと評価します。財源確保に加えて、将来急激な財政負担が見込まれる公共施設の高齢化対策など

に備えた、一層の努力を重ねてください。次に、主要な施策ごとに意見を述べます。①地域の課題は地域で解決すること。②充実が図られていること。③子どもを高く評価④年齢別疾病別のデータ分析による病予防強化を評価⑤子どもの放課後充実事業「スーパードット」の実施、子育て情報

賛成

平成27年度決算の実質収支は、緊縮財政に取り組んできた成果で27億7千万円の黒字ですが、市債残高は735億8千万円です。市政運営のローガンは諸方融合ですが、市民の力を借りるに当たっては、市職員が新たな発想を持ち、市民と共に取り組むべきです。職員が新たな発想を持ち、市民と共に取り組むべきです。職員が新たな発想を持ち、市民と共に取り組むべきです。

新たな発想で「気概と粘り強さ」を備えた市政を「自民党新政会」

長寿化について、11橋の補修設計が実施され、対処型防犯カメラの設置が完了し、道路や公園遊具も含めて、市民の安全安心が守られる努力を⑤学校給食運営経費では、週3回以上の米の使用がある中、日野産米は総使用量の1・8%に留まる。日野の地域性を生かした地場野菜・果物の給食利用推進を。

反対

決算不認定の理由を2点述べます。第1の理由は、予算に反対した最大の理由でもある、ごみ処理広域化を強行したことです。収集車搬入路計画は、その暴走が加速しています。都から法令上無理があると指摘されても、予算化して住民説明会まで突入。その強引な行政手法は、住民との信頼関係とガバナンスを崩壊させます。第2の理由は、過去最高となった決算剰余金29億に現れる市政運営のあり方です。かつてない剰余金が出ていて、福祉の増進を図る自治体の使命を果たしているのか。保育園待機児が深刻な中、財源があつたにもか

「ごみ処理広域化へ暴走 かつてない決算剰余金」日本共産党日野市議団

問われる事態です。次に、決算審査の中で取り上げた問題7点について改善の提案をします。①障害者差別解消法

(注)金額は、各欄ごとに1万円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。 平成27年度決算の解説は「広報ひの」11月1日号」の2ページから4ページに掲載。ご参照を。 質疑・意見の詳細と答弁は、会議録の閲覧や会議録検索システムでご確認ください。→別掲記事(4面参照)